

## 平成17年度「循環・共生・参加まちづくり表彰」表彰団体概要

青森県 八戸市 人口：約250千人 面積：305 km<sup>2</sup>

平成14年に「あおもりエコタウン」、平成15年には「八戸港リサイクルポート」、「環境・エネルギー産業創造特区」に相次いで指定され、循環型社会を目指す上での「焼却灰・ホタテ貝殻リサイクル事業」や「水の流れを電気で返すプロジェクト」などの重要な事業や実証研究が行われている。

平成16年度に環境に関する総合的な計画「八戸市環境立市プラン」を策定し、目標に「人と自然と地球に優しい環境先進都市八戸」を掲げ、自然環境の保全、快適な環境の確保とともに、特性を活かした持続可能な循環型都市の構築に向けた取組を実施している。

秋田県 ニツ井町 人口：約12千人 面積：181 km<sup>2</sup>

車依存のライフスタイルを見直すため、坂が少ない地形を利用した自転車のまちづくりを進め、自転車のリサイクル、自転車・歩行者にやさしい道路の整備を図っている。さらに、広大な面積を持ち下水道が非効率的であるために合併浄化槽の推進など、地域の特性を活かした環境保全活動に取り組んでいる。また、地域資源である天然鉱物ゼオライト（結晶性の無機多孔質材料）や秋田杉間伐材を用いて、水質浄化を図る取組を実施している。

群馬県 館林市 人口：約81千人 面積：61 km<sup>2</sup>

市内に多数の沼池が存在する館林市の環境施策の中心は、「水と緑」の保全と創出、そして市民との協働である。昭和59年から地域住民との協働で実施されている植樹運動や各家庭で不要となった樹木を引き取り、欲しい方に渡すグリーンバンク制度が継続実施されている。さらにつつじのまち館林では、市民からオーナーを募集する「つつじオーナー制度」を平成12年度に創設し、まちに彩を添えている。

平成14年度から、市内70箇所以上の気温を市民の手で測定し、温度マップを作成している。その結果から「水と緑」の有効性が確認され、ヒートアイランド対策や地球温暖化への対策として「館林打ち水大作戦」や「緑のカーテン事業」などが展開されている。

東京都 練馬区 人口：約686千人 面積：48 km<sup>2</sup>

練馬区は、首都東京を構成する特別区23区において、自然環境分野では、緑被率がトップであり、練馬区の大きな誇りとなっている。その緑の保全・育成について、緑化協力員制度など区民・事業者・行政と協働による取組を30年近く推進し、更に充実・強化を図っている。

区民自身が環境にやさしい取組や環境に配慮した生活を進めるために、区民自らが考え・行動する「練馬区民環境行動方針」を策定するなど、環境団体の区民一人ひとりに対する普及啓発や実践活動が盛んである。

富山県 氷見市 人口：約56千人 面積：230km<sup>2</sup>

豊かな自然の保全が地域経済の持続的発展につながることから、豊かな漁場を支える健全な水循環の確保と、自然とのふれあいの場となる里山の保全を図るため、市民グループと連携した森林整備や里山林・棚田等のオーナー事業を実施しているほか、地域的な資源循環を確立するため、家畜排泄物や生ごみ等の有機資源の活用を推進している。

さらに、平成12年度から3年間で中国や中米コスタリカ共和国などに定置網漁法の技術指導を行い、平成14年度には世界35の国と地域が集う「世界定置網サミット」を開催するなど環境配慮型の漁法としての「定置網」を早くから導入し、世界に向けて発信している。

福井県 名田庄村 人口：約3千人 面積：144km<sup>2</sup>

農山村の優れた環境と原風景を取り戻すため、平成10年「名田庄村自然環境整備委員会」を設立し、地域住民が主体となり調査・検討を行った。この結果に基づき平成12年3月「名田の荘郷づくり構想」を策定し、「名田の荘郷づくり構想に関わる自然にやさしい郷づくり条例」、「ゴミの投げ捨て禁止条例」、「清らかな南川づくり条例」、「空き地等の適正管理に関する条例」の4つの条例を平成16年4月1日に施行している。この条例により、村と村民および事業者が一体となっごみの放置（不法投棄）を未然に防ぎ、適正な管理を図るなど自然と調和した村づくりや田舎の原風景を取り戻す活動を行っている。

岐阜県 上石津町 人口：約7千人 面積：123km<sup>2</sup>

上石津町は、標高800m前後の山々に囲まれ、河川に沿って集落が開けた盆地型の町である。自然と人為とが長い年月をかけて調和した里山景観を呈しており、日本の原風景の一つともいえる。この里山景観の再生と継承のため里山について学び、里山利用を目指す組織として「里山大学」が開設している。さらに、循環型社会の実現を目指し、使用済み食用油のリサイクルや木質ペレットストーブの導入などの取組を実施している。

平成17年度に木質ペレット燃料製造設備を導入し、公共施設に設置してある木質ペレットストーブの燃料を町面積の約85%を占める山林から製造する木質ペレットで賄う予定である。

兵庫県 西宮市 人口：約465千人 面積：100km<sup>2</sup>

平成4年より子どもたちを対象とする環境学習事業に取り組んできており、平成10年からは、環境学習活動事業にエコカードシステムを導入し、全市の小学生を対象とした事業をNPO法人こども環境活動支援協会の協力を得て展開している。平成17年度から中学生以上を対象とした「大人版エコカード」の利用により、市民や事業者に対する環境活動の推進を図ることとしている。

平成15年12月、持続可能なまちづくりを目指し、全国初の「環境学習都市宣言」を行い、市民、事業者の意識喚起を図り、多彩な事業を展開している。